無断転載・無断利用禁止

獨協大学
DOKKYO UNIVERSITY

外国語学部英語学科	准教授	高林 友美	大学院の授業担当 無

教育活動

教育実践上の主な業績		年月日	概要
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）			
1	講義科目（大規模）に関して	2020年～	授業を15～25分程度で区切り、教員のみが話す講義の時間を制限して、双方向的な活動を挟むよう心がけている。受講生が1人だけ喋るのではなく、まずは各自考えたうえでグループで議論し、そのうえで複数名が発表の機会を持てるように活動を工夫している。また、LMSを使ったコメントシートで学生エンゲージメントを高めて、次回授業内でその返答を行うようにしている。
2	講義科目（小・中規模）に関して	2016年～	アクティブ・ラーニング型の授業を目指して、ひとりひとりが学んだ知識を実際の状況に当てはめて考えさせるよう心がけている。発表を通じて個別具体的な背景を具体例として講義に還元し、活発かつ実践的な授業にしている。
3	演習科目に関して	2020年～	ゼミナール等では受講生が持つ関心を活かして、興味と研究的意義の両面でやりがいのあるテーマに取り組めるよう個別指導を重視している。学生同士での発表やリフレクションに対するフィードバックや、研究のひな形を提供しながら自律的にテーマを進められるようサポートを行っている。
2 作成した教科書、教材、参考書			
1	『よくわかる開発学』ミネルヴァ書房	2022年12月19日	共著 開発学の初学者向け教科書、Ⅲ-5 デジタル格差と教育を担当。
2	授業ハンドアウト	2016年～	空欄を埋める形式のハンドアウト教材を作成し、イメージがつかみやすいよう、著作権に配慮した視覚資料を追加するよう心がけている。2020年からはデジタル化を希望する学生にはPDFでも入手できるようにしている。
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			
1	FD講演「学生の自律的学習を推進するために」	2019年9月13日	短期大学において、開催校の専任教員を対象とした夏季FD研修会として、メディアを用いて自律的学習をサポートする計画を立てるワークシートを用いた講習会を行った。
2	学会発表「習わなくても使える時代のICT 活用教育授業」	2022年11月27日	共同発表 日本教育メディア学会第29回年次大会において、ICT活用についての中規模クラス実践事例を発表した。
4 その他教育活動上特記すべき事項			
1	オンライン大学における授業設計	2019年～	フルオンライン・フルオンデマンドの授業を教育工学、特にインストラクショナルデザインの視点から効果的かつ魅力的になるよう設計した。コンテンツ制作センターにおけるスライド修正、収録、編集作業を含む。

更新日 2026/4/1

無断転載・無断利用禁止

獨協大学
DOKKYO UNIVERSITY

外国語学部英語学科	准教授	高林 友美	大学院の授業担当 無

学会等および社会における主な活動（学外の委員、役職等）

年月日	活動内容
2014年10月～現在に至る	日本教育メディア学会、会員
2019年4月～2021年12月	日本教育メディア学会 、研究委員
2021年12月～2024年10月	日本教育メディア学会 、事務局補佐
2024年10月～現在に至る	日本教育メディア学会 、編集委員
2015年4月～現在に至る	日本教育工学会、会員
2019年8月～2021年3月	日本教育工学会、国際交流委員
2021年4月～2023年3月	日本教育工学会、企画戦略国際委員
2016年4月～現在に至る	コンピュータ利用教育学会、会員
2017年10月～2019年3月	外国語教育メディア学会、学生会員
2022年4月～現在に至る	外国語教育メディア学会、一般会員
2020年11月～現在に至る	Association for Educational Communications and Technology, member
2024年12月～現在に至る	Association for Educational Communications and Technology, conference reviewer
2023年1月～2024年12月	日本バーチャルリアリティ学会、会員
2024年4月～現在に至る	多文化関係学会、会員
2025年1月～現在に至る	World Council on Intercultural and Global Competence, member

その他

科学研究費助成事業：
若手研究「発達障害の特性に応じた自律的学習スタイルの解明と支援ツールの開発」 代表（2020年度～2025年度）
若手研究「AIピアとの協働から異文化として発達障害特性の自他理解を深める仮想学習環境の構築」 代表（2025年度～2028年度）

受賞歴
Young Scholar Awards, 12th International Conference for Media in Education(2014年)
Outstanding Paper Scholar Awards, 13th International Conference for Media in Education(2015年)